

【生徒の皆さんへ】

～ SNSの『軽いノリ』に潜む、取り返しのつかないリスク ～

最近、校内でもSNS（Instagram、TikTok、LINEなど）を巡るトラブルの話を耳にします。悪気のない「悪ふざけ」や、イライラした時の「愚痴」のつもりでも、ネットに出た言葉や動画は、誰かを深く傷つけ、自分自身の未来をも奪う凶器に変わります。今一度、スマートフォンやSNSの使い方について真剣に考えてみてください。



Case 1: 動画の安易なアップ～「身内ウケ」のつもりが「世界」に拡散される恐怖

○よくある行動

「鍵アカ（非公開アカウント）だから」「24時間で消えるストーリーだから」と、悪ふざけや友達の変顔、不適切な行動を投稿する。

○知っておくべき現実

① 一生消えない（デジタルタトゥー）

誰かがスクショや画面録画をして転載すれば一瞬で世界中に拡散します。ネット上に一度流出したものは、現代の技術では二度と完全消去できません。

② 数時間で身元特定

制服、校章、窓の外の景色などから、あっという間に「学校名」「学年」「本名」が暴かれます。学校に苦情が殺到し、これまで通りの安心した学校生活を送ることが難しくなるケースもあります。

③ 未来への代償

数年後の進学や就職活動の際、過去の動画が発掘されて「退学」や「内定取り消し」になり、人生を棒に振る事例が後を絶ちません。

Case 2: 他者への誹謗中傷～「匿名」という勘違いと、課せられる重い責任

○よくある行動

ムカつく相手への愚痴、誰かをからかう書き込み。「みんな言っているから」「イニシャルだからバレない」という油断。

○知っておくべき現実

① 完全な匿名は存在しない

被害者が手続きを踏めば、書き込んだ人の個人情報簡単に特定できます。「誰が書いたか」は必ずバレます。

② 警察沙汰と、巨額の賠償金

法律が厳しくなり、中高生でも警察に書類送検されるケースが実際に起きています。また、親が数百万円規模の損害賠償を請求され、家族の人生が一変することもあります。

今日から守る「3つの約束」

トラブルの当事者にならないために、画面をタップする前に必ず思い出してください。

その1: 「校門の前で大声で言えるか？」

その動画や書き込みは、全校生徒や先生、親、大勢の見知らぬ大人の前で、マイクを持って発表できる内容ですか？ できないなら、ネットにも絶対に載せてはいけません。

その2: 「スクショされたら終わり」と心得る

親友だけのグループLINEでも、「相手が画面を保存して、別の人に送るかもしれない」という意識を常に持つこと。「絶対に秘密ね」はネットでは通用しません。

その3: 困ったら、広がる前にすぐ大人へ

「やってしまった」「巻き込まれたかも」と思ったら、怖がらずにすぐ先生や親に相談してください。初動が早いほど、被害を最小限に抑えられます。